

これからも組合員のみなさんとともに歩んでいきたい ～ 生保労連としてできること ～

2014年3月11日  
中央執行委員長 浜田 一郎

震災から3年を迎えます。改めて、亡くなられた方々のご冥福をお祈り申し上げます。また、ご家族や友人を亡くされた方々、不自由な生活を余儀なくされている方々に、心よりお見舞い申し上げます。

私たち生保労連は、少しでも被災地復興の支えとなるために、できることに一つずつ取り組んでいきたいと考えています。

一つ目は、被災地のみなさんの声に耳を傾けることです。先般も各組合の本部役員が集まる場で被災地組合員の現状について情報交換を行いました。今後も被災地のみなさんの置かれた現状を確認し、理解を深めていくことが大切であると考えています。

二つ目は、震災当時、組合員のみなさんが果たされた役割、想いをつないでいくことです。あの未曾有の事態の中、被災地のみなさんがお客さま対応に奔走されたことは私たちの誇りであり、その想いを将来にわたってつないでいきたいと思えます。

三つ目は、被災地のみなさんの声を紹介し、復興に向けた願いを全国の組合員と共有することです。今回の特集はまさにその一環であり、被災地組合員の方々の声を受け止めていただけたら幸いです。

生保労連は、これからも地域・社会や職場の「絆・つながり」を大切にしながら、被災地組合員のみなさんとともに歩んでいきたいと思えます。